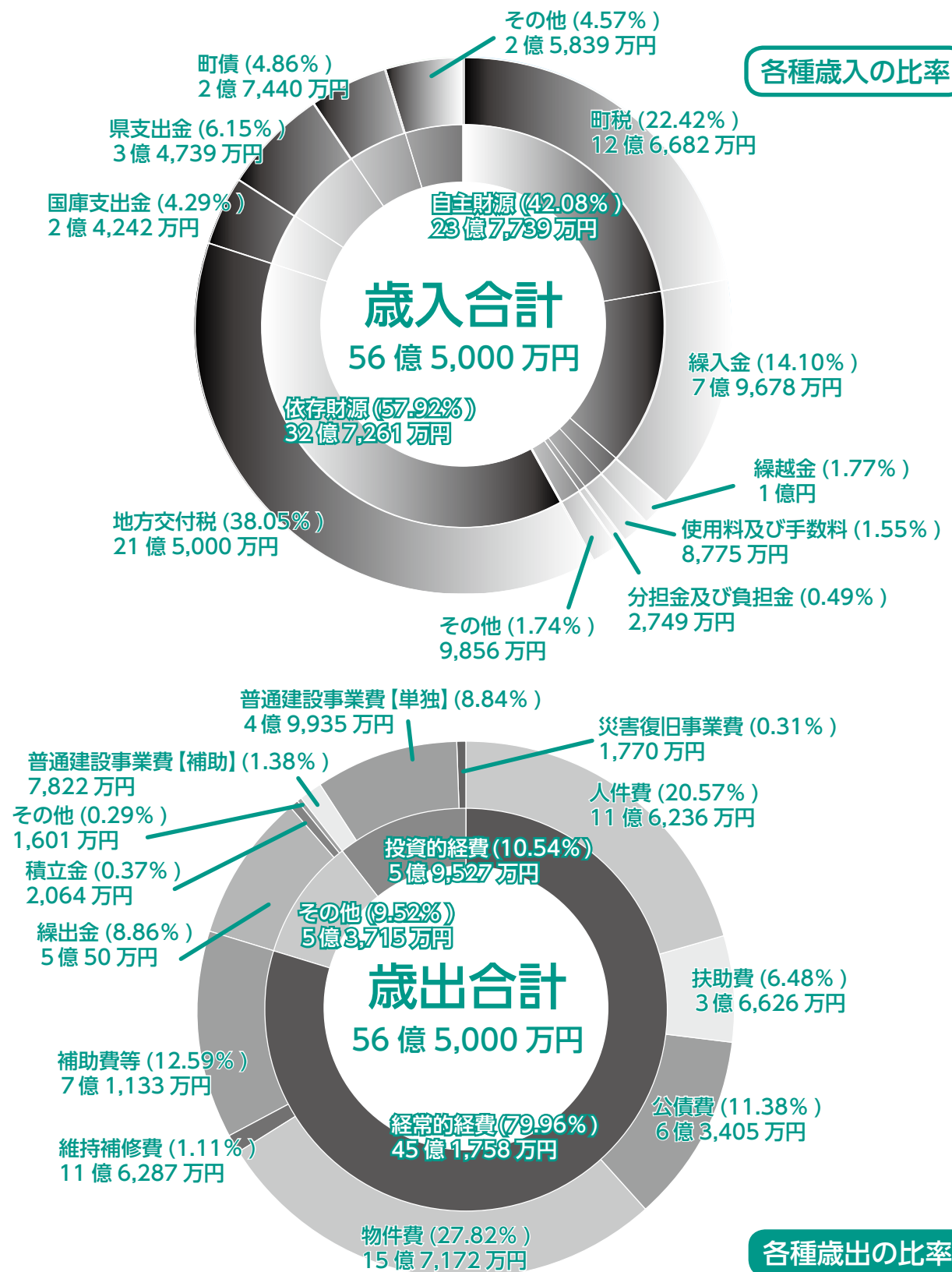


歳入と歳出の内訳について



町民 1 人あたりの税額 (単位：円)	
町 民 税	39,586
固定資産税	137,822
軽自動車税	3,807
町たばこ税	3,911
入 湯 税	733
合 計	185,859

町民 1 人あたりの予算額 (単位：円)	
議 会 費	10,697
総 務 費	137,772
民 生 費	186,932
衛 生 費	82,176
労 働 費	271
農林水産業費	64,195
商 工 費	50,823
土 木 費	38,439
消 防 費	40,886
教 育 費	117,600
災 害 復 旧 費	2,597
公 債 費	94,344
予 備 費	2,201
総 額	828,933

※一般会計の歳入歳出予算額を、平成 31 年 3 月 1 日現在の人口で割った金額です。

平成 31 年度 川根本町当初予算

議会 3 月定例会において、平成 31 年度の予算が議決されました。

今年度の予算は一般会計と 6 つの特別会計の合計が、82 億 4,390 万円で、前年度と比較して 5 億 2,990 万円、率にして 6.04% の減額となりました。

皆さんの大切な税金をもとに運営されている町政です。平成 31 年度はどのくらいの収入が予定され、どのような目的で使用されるのか、その予算の概要をお知らせします。

○予算の概要と編成方針

本町は平成 17 年 9 月の合併以降、将来を見据えた持続可能な行財政運営を目指しながら、この町ならではの強みを活かした魅力向上のため、高度情報基盤の整備をはじめ、川根高校の魅力化促進のための様々な施策、多様な就労環境の創出といった新たな取り組みを積極的に進め、徐々にその効果が表れはじめてきていると認識しています。

一方、歳入面では、合併から約 13 年が経過し、普通交付税の合併算定替えといった優遇措置が縮減等、今後の行財政運営に不安が生じていることも事実であります。

このような状況下、平成 31 年度一般会計当初予算は、予算総額 56 億 5,000 万円、前年度と比較し、5 億 4,390 万円、率にして 8.8% の減額となる予算を編成しました。また、特別会計を含めた町全体の予算は、総額 82 億 4,390 万円、平成 30 年度と比較し 5 億 2,990 万円、率にして 6.04% の減額となります。



平成 31 年度予算は、財政的に厳しい中でも、合併以降ここまで整備してきた環境や礎を最大限活かしながら、ようやく芽吹いた「小さいけれど新たな芽」が、「大きく」「太く」「丈夫に育つ」よう、常に状態を確認しながら効果的に水や肥料を与えていく時期に差し掛かっているのが平成 31 年度であり、そのための予算が平成 31 年度当初予算であります。

川根本町長 鈴木敏夫

平成 31 年度予算の重点項目

○「川根本町の強みを活かす」

川根茶、温泉、自然など川根本町の強みを活かす施策を展開する。

○「人口減少の克服を目指す」

出生率の向上、人口流出の抑制、人口流入のための施策を展開する。